Nichinoken Tama-plaza Style

日能研たまプラーザ校
入室案内

「豊かな合格」

～自ら学び進む人へ～

日能研は、1953年の創立以来、70年近くにわたり、小学生のみの中学受験専門塾として、中高一貫校への進学を支援してきました。そこには変化の激しい公教育に対してぶれることのない中高一貫校が、小学校を卒業する子どもたちにとって最良の教育環境であるという思いが込められています。中学受験を通じて、高校受験で分断されない「６年間」を手に入れること、試験を通じて均質な集団に属することで、価値観の共有がしやすい環境を手に入れることが、子どもたちの成長にとって有意義であると考えるからです。

日能研は中学受験専門塾ですから、総合塾のように「高校受験でリベンジできます」といった逃げ道ははじめから持ち合わせていません。教える子ひとりひとりをきちんと志望校に合格させることを使命と考えています。

この理念・使命のもと、中学に合格するためには何が必要なのか、どんなことができるようになればよいのかを日々研究し、学習指導にあたっています。

中学受験では、高校入試などとは異なり、試験科目の合計点のみで合否が決まります。合格に向けて、日頃の学習姿勢を身につけることと、確かな基礎学力を育むことが重要です。
学習の目的は、「合格に必要な知識・技術を単に詰め込む」ことではなく、**「合格後も使える力」（自ら学び進む力）**を身につけることです。中学入学後、その後の大学進学、そして社会人へ。それぞれの場面で学ぶことは続いていきます。

与えられたことだけを繰り返すだけでなく、「自ら学び進む力」を中学受験を通して身につけ、志望校に合格する。大切なのは、**いま出来る子になることだけではなく、これからも伸びる子になること。**中学受験で燃え尽きない、タフな生徒を育てます。

日能研たまプラーザ校では室長を始め、教室スタッフや４科授業担当者など、たくさんの目でお子さまの良いところを発見し、さらにそれを伸ばすさまざまな工夫に取り組んでいきます。

中学受験を目指すみなさまへ

　中学受験は、親子が同じ目標に向かって取り組める唯一の入試です。我が子の将来の選択肢を広げる前向きな取り組みですので、明るく元気に乗り越えてほしいと思います。
そして受験を成就させるには心の強さも必要です。受験を通して強く逞しく成長していく子どもたちの姿は、私たち大人をも成長させてくれます。
たまプラーザ校では子どもたちの合格を全力でバックアップして参ります。

たまプラーザ校のこだわり

受験指導のプロとしての責任を果たすため、さまざまな「質の高さ」を追求しています。

―質の高い授業―

日能研が子どもたちに提供するものの中で、最も大切にしているものが授業です。日能研の授業担当者は、受験勉強の苦しさや難しさをよく理解した上で、それを面白さや奥深さとして伝えるプロです。先生の持つ熱意が、子どもたちにも伝わることで、苦手教科であっても諦めずに挑戦し続ける心が育ちます。

―質の高いサポート―

たまプラーザ校のスタッフは、日能研関東の主要教室の授業や運営を担当してきたベテラン職員で構成されています。教材開発の担当者、難関校対策講座の担当者、学校情報に精通している職員など、一人一人に専門スキルがあります。各家庭から寄せられる相談に対して、的確な回答ができるのも、その体制によるものです。

―質の高い受験生の姿勢作り―

受験生に求められる力の一つに、場の空気を読む力があります。受験生の成績と視野の広さには関連性があります。たまプラーザ校では、学習指導だけを行うのではなく、受験生としての心構えも指導しています。学年が上がるにつれ、話の聞き方、時間の有効な使い方、他者への配慮などについて、大人と同じように行動できる受験生が増えています。

横浜市青葉区の中学受験率

約27%

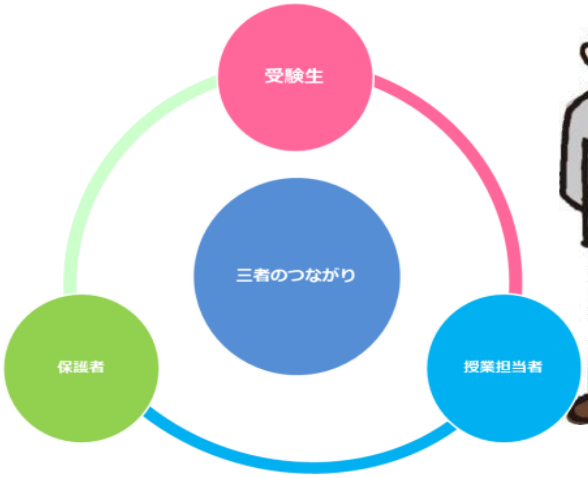
小学６年生の４人に１人以上!!

（首都圏全体の受験率：21.1%）

日能研たまプラーザ校の所在地である横浜市青葉区は、首都圏屈指の中学受験率を誇る地域です。子どもの教育環境への関心が高い地域であると同時に、横浜市内はもちろん、川崎市や神奈川南部、東京都内へのアクセスがよいため、通学可能エリアに、魅力的な中高一貫校が数多くあることも大きな理由でしょう。
小学校卒業後の進路は多様化しています。わが子にあった学校選びという観点から“中学受験”という選択を積極的に考えてみてはいかがでしょうか。

たまプラーザ校が大切にしていること

日能研たまプラーザ校は、
全ての受験生の夢を叶えるために、
三者のつながりを大切にしています。



受験生－授業担当者「信頼関係」

受験生が正しい目的を持ち、適切な方法で学習するためには、指南役である授業担当者との信頼関係が欠かせません。小学生である受験生は、「何を言われるか」以上に「誰に言われるか」によってやる気になるもの。教え子から「この先生の言うことは聞いておかなければ！」と思ってもらえるように、私たち授業担当者も、一人一人の習熟度を踏まえて具体的な言葉で助言をしています。結果だけを漠然と評価しても、今後の成長には結びつきません。取り組みも含め、的確な言葉で伝えるからこそ、耳の痛い指摘であっても、しっかり心に響きます。

保護者－授業担当者「協力関係」

小学生である受験生の中に、自身の受験勉強のマネジメントができる子は、ほとんどいません。だからこそ、周りの大人たちが、必要に応じて受験生をサポートする必要があります。ただし、「船頭多くして船山に登る」という言葉にも示されているように、大人が受験生への接し方を間違えると、受験生を混乱させてしまいます。保護者の役割は、我が子を「支える」こと。「教える」のは、私たち授業担当者の仕事です。この役割分担が正しく機能するように、保護者会や面談を実施し、大人の作戦会議で情報交換を行います。

受験生－保護者「愛情関係」

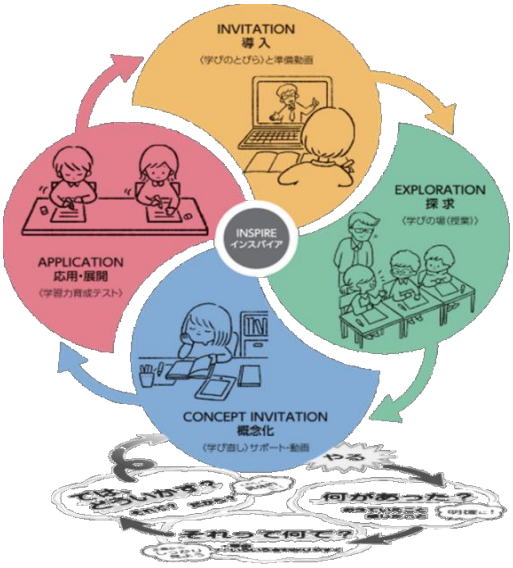
世間で言われる「中学受験は親子の受験」という表現は、間違ってはいません。しかし、それは、けっして「いつでも傍にいて面倒を見る」という意味ではありません。関わりが深すぎると、受け身の姿勢を助長してしまい、我が子の精神的な成長を妨げかねません。大切なのは「親子が同じ目標に目を向けている」こと。日々の学習の原動力の一つとなっているのが、中学校への憧れです。家族が受験生の想いを尊重し、そっと背中を押してやる。家族の愛情に支えられている受験生は、壁にぶつかっても、それを乗り越え、入試を迎える頃には、笑顔で「今まで支えてくれてありがとう」と言ってくれるほど成長します。

日能研たまプラーザ校は、

進学塾であれば当たり前のシステムについて、

その目的や効果も考えた上で、

指導を行っています



習熟度別クラス

中学受験の勉強には「大人の取り組み」が含まれています。特に、高学年の子が取り組む学習の中には、本来であれば中学校に入学してから学ぶ、背伸びした内容も含まれます。

学習指導の場において、子どもたちの力を「伸ばす」ためには、「知っていること＋α」の課題を提供することが大切です。易しすぎるとつまらない。一方で、難しすぎてもつまらない。そこで、易しすぎず、かつ、難しすぎないレベルの学習に触れる環境が必要です。

習熟度別クラスの価値はそこにあり、私たちたまプラーザ校の授業担当者は、生徒が理解している段階を見極めた上で、それに応じた適度なレベルの授業を提供できるよう、単元の深め方や課題の選択の仕方にも、強いこだわりを持っています。

集団授業

集団授業のねらいとは、「他者と競い合うことによって力を伸ばすこと」と思われています。それは間違ってはいませんが、ライバル意識を持っているだけでは、力は伸びません。むしろ、他者の発想に目を向け、視野を広げていくことが成長につながります。新たな解き方や考え方を知るチャンスに満ち溢れているのが、日能研の集団授業です。

私たちたまプラーザ校の授業担当者は、いわゆる「一方的な解説授業」は行わず、子どもたちの発言や解答を生かすための方法を考えています。「皆で一緒に成長する」「皆で一緒に合格する」というムードを演出することで、テストのクラス平均点が上がり、それが、入試の合格率の高さへとつながっています。

復習中心主義

学習した知識や技術を身につけるためには、反復練習が欠かせません。学習範囲が多岐に渡る中学受験の学習プログラムを、予習によって定着させるのは限界があります。私たちたまプラーザ校の授業担当者は、授業で扱った内容が自分の使えるものになるよう、各回の授業にて、家庭学習の方法や課題を具体的に指示し、学習力育成テストを通じて定着度を確認しています。

受験学年においては、取り組んだ問題について、根拠（手がかり）と過程（手順）を振り返ることができるよう、考え方の確認も徹底して行います。自分の抱えている問題点と原因を具体化した上で、改善点を明らかにする。このような振り返りの作業を通じて、過去の自分を超える（＝できることが増える）受験生が育っています。

学年ごとの歩み

２・３年生 [予科教室]

[学習テーマ]

中学受験へ向けた広く深い学習と出会う

学習意欲・学習姿勢の向上

[主なねらいと取り組み]

日能研生として、初めて塾通いが始まります。4年生以降から本格的に始まる受験勉強に備えて、学習の土台を築いていきます。一番の目的は、**学ぶ楽しさ、集団授業の楽しさにふれること**です。興味・関心は、お子様を伸ばす一番の原動力となります。小学校の授業とは一味違ったテキスト、先生、仲間たちとの出会いの中で、新たな発見をしながら少しずつ進んでいきます。

４年生 [本科教室]

[学習テーマ]

学びに親しみ、視点や知識を広げる

系統別学習の開始

[主なねらいと取り組み]

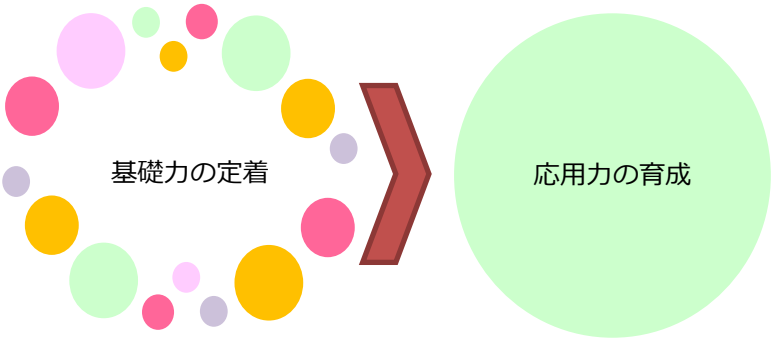
本格的な系統別学習が始まります。週2日の授業で、各科目ごとに無理なく丁寧に進みます。主な目的は**受験プログラムに触れることと、学習習慣の確立**です。実はこの1年で、浅く広くではありますが、主要単元を一通り網羅します。基礎力を充実させていく上で重要な学年です。学習習慣に関しては、授業→復習→テストといった今後の学年でも続く学習スタイルを身に着ける大事な時期です。家庭学習のチェック、テスト後の声かけ、ご家庭との面談等、根気強く働きかけをしていきます。

５年生 [本科教室]

[学習テーマ]

自分の学び方や考え方を深める

受験基礎力の定着、応用力の育成



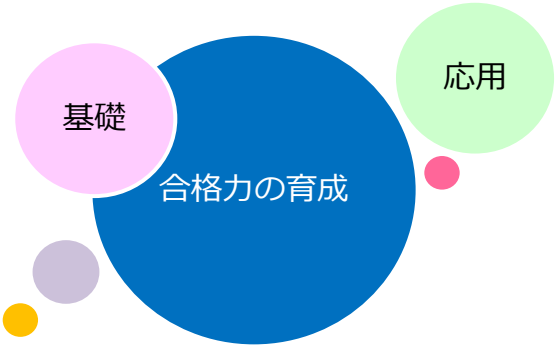
[主なねらいと取り組み]
4年生で少しずつ触れた単元を、もう一度網羅しながら深めていきます。この**5年生の1年で、受験に必要な知識・考え方についてのほとんどを扱います**。受験の土台を作り上げるとても重要な学年です。週3日の授業となり、授業時間が増えるとともに内容も高度となります。また、受験学年に向けて学校選びも始まります。お悩みも多い時期となりますので、個別学習相談、保護者面談、生徒向けイベント、保護者会等、様々な施策でお子様とご家庭をサポートします。

６年生 [本科教室]

[学習テーマ]

すべてを合格のために

応用力完成、合格力育成



[主なねらいと取り組み]
「全てを合格のために」とあるように、これまでの総仕上げをしていきます。前期はこれまでの流れを踏襲した講義形式の授業ですが、夏期講習以降の後期は演習型の授業となり、進め方が大きく変わるのがポイントです。授業数は週3～4日になり、日曜日に「日特」と呼ばれる入試研究講座とテストを行います。また、後期からは全国公開模試が本番さながら外部会場での受験となり、細かい志望校判定も出てきます。忙しい毎日の中でも目標を見失わないよう、志望校と成績の推移を見ながらアドバイスをさせていただきます。日々の声掛け、面談はもちろんのこと、保護者会や受験相談会等、受験を意識した様々な取り組みを行っていきます。

たまプラーザ校の強み

たまプラーザ校の特長

日能研内でも大規模の教室です

◆地域選抜クラスを設置する大規模教室

１学年７クラス編成（１４０名前後が在籍）

スケールメリットを活かした運営

・細分化されたクラス編成

低学年では希望曜日別選択制

高学年では習熟度別クラス編成を実施

・クラス数の多さからクラスアップがしやすい

・毎回のテストでの成果が体感しやすい

（クラス内での成績差が小さい）

・クラスの数だけ講師がいるため、いろいろな先生に教わることが出来る

・幅広い通室エリアにより、友人・ライバルに恵まやすい

・合格実績校が豊富

「一緒に頑張る」

「みんなで合格する」という集団の力

◆たまプラーザ校の平均点＞日能研全体の平均点

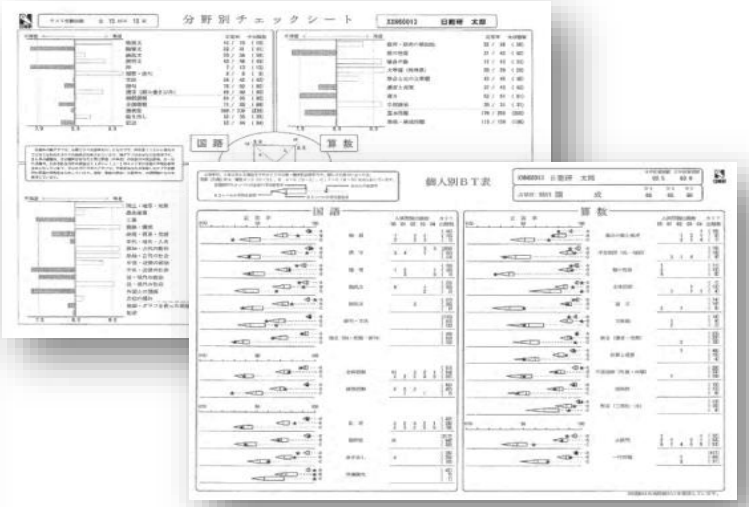
教科専任講師・教務本部のサポート体制により、子どもたちを指導します。その結果学年が上がるにつれ、学力にも大きな変化が現れています。

学力レベルの高さ

子どもたちを見守るツール

様々な視点から、子どもたちを支援

◆教室スタッフは受験指導のプロ
◆教科の質問や、学習方法に関する相談にもお答えします。
◆ご家庭との面談 では、日能研が教科に特化した具体的なアドバイスが行え、入試問題との相性まで考えた受験校選びを支援します。



充実した保護者会

保護者の皆様へも万全のサポート

◆各種保護者会 （実施例）
○入試結果報告会　○春期学習説明会
○志望校選定面談　○夏期学力育成保護者会
○志望校選定保護者会 ○過去問演習ガイダンス
○個別受験相談会
○併願作戦保護者説明会
○入試出願準備保護者会

日能研グループ教室が近隣に集結

駅から徒歩5分の総合教育機関

◆個別指導ユリウス(日能研卒業生による指導)
◆学習教室ガウディア(低学年での学習の場)を併設

日能研
使える力 gaudia
日能研ブランネット ユリウス

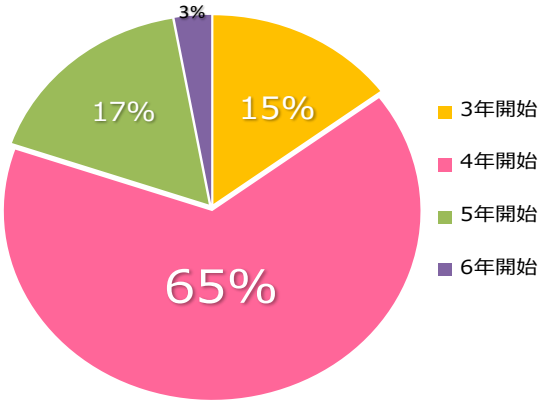
たまプラーザ校教室生データ

説明会や個別相談などでよくいただく質問のいくつかについてお答えします

通室開始学年について

2024年度の6年在籍生が通室を開始したのは、
何年生の時でしょうか。
グラフにしてみると、右の図のようになりました。

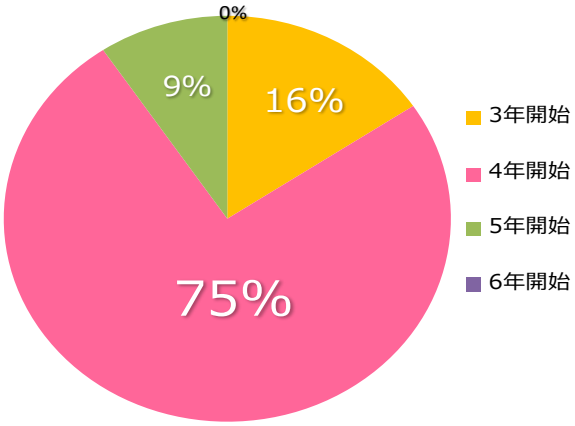
2024年度受験生通室開始学年



Mクラス（難関クラス）生の通室開始学年について

では、上位クラスの生徒ではどうなるでしょうか。
同じように円グラフにしたものが右下の図となります。
「５人に４人は４年次までに通室していた」
ということになります。

M5・M1クラス(上位２クラス)
在籍生通室開始学年



Mクラス（難関クラス）在籍生のほとんどは、３・４年生で通室を始めています。３・４年生での基礎学力の確立が、その後の学年での強靭な応用力を生み出しているのです。難関校を視野に入れた受験を目指すのなら、**４年生までに通室をスタート**することが理想といえるでしょう。

クラス替え

日能研では、４・５年生は２ヶ月に一度、６年生は１ヶ月に一度、クラス替えを行います。
2024年度の５年生はクラス替えごとに学年全体の２０％にあたる生徒が在籍クラス変更の対象者になっています。クラスは上がることはもちろん、下がることもありますが、それはより適切な学習環境の整備のためです。
お子さまにぴったり合ったクラスで受ける授業が、結局のところ最もお子さまの力を伸ばすことになるのです。

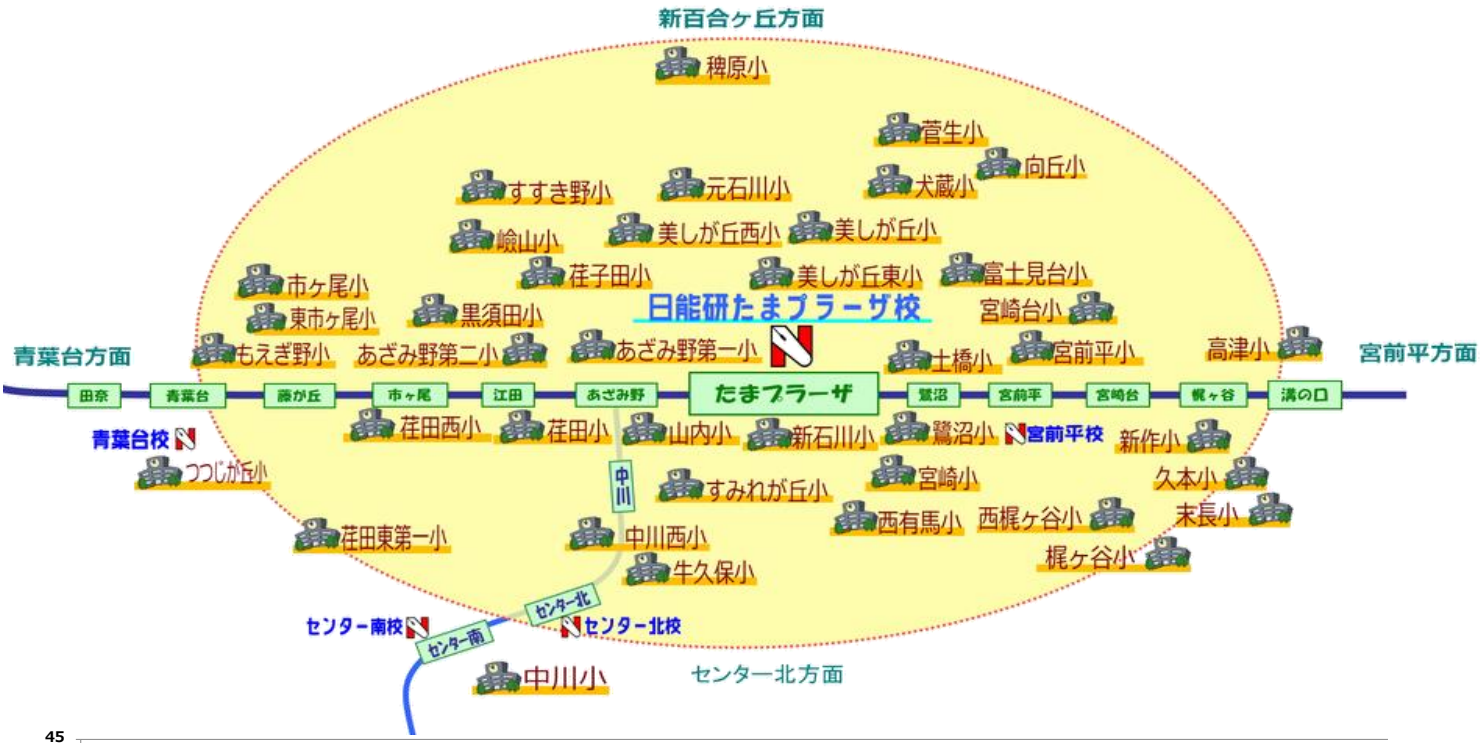
たまプラーザ校のレベル

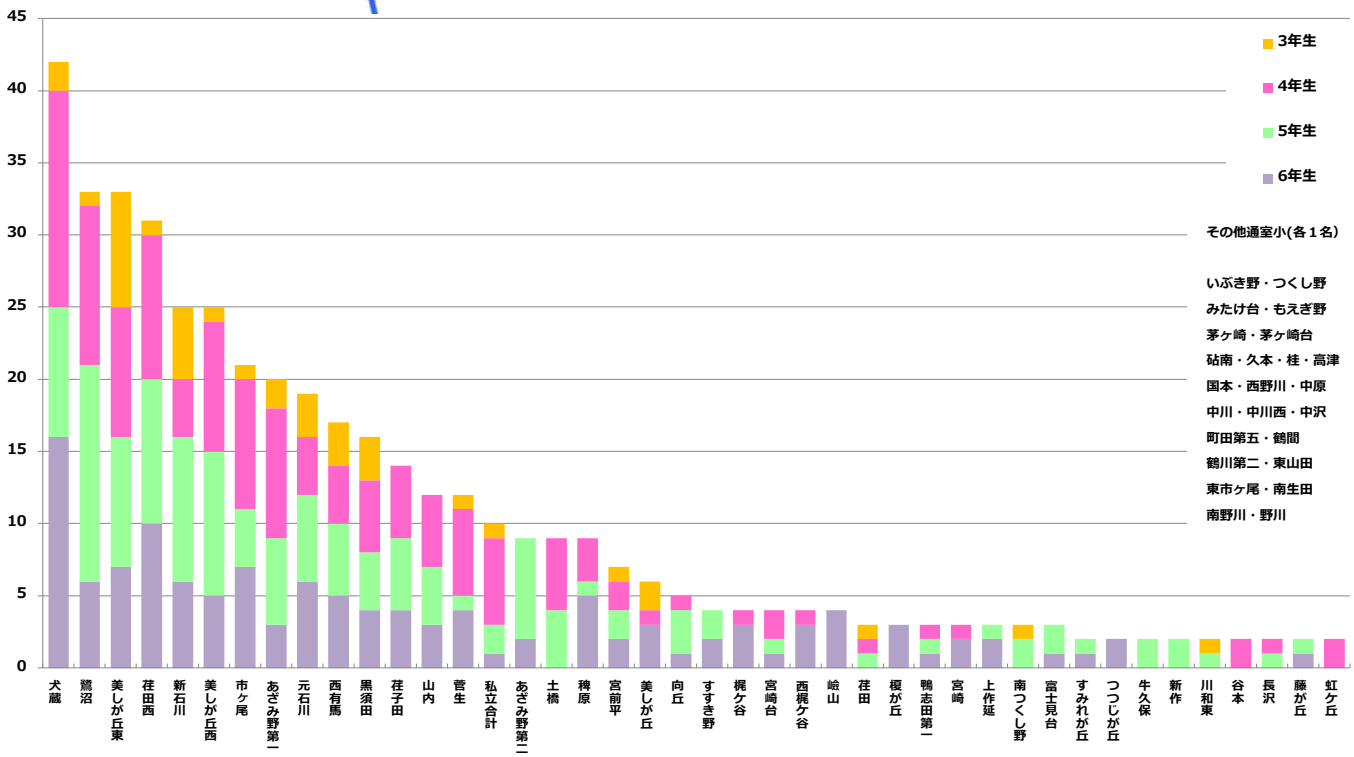
さて、そんな日能研たまプラーザ校ですが、実際のレベルはどうなのでしょうか。日能研では上位クラスには、基準値が決められており、日能研生が必ず受験する実力模試での平均偏差値が「５５」以上であることが条件です。これは、日能研全生徒の上位３５％の集合となっています。
2024年度たまプラーザ校受験生では、年間平均偏差値「５５」以上の生徒が全体の４０％を占めておりました。
近隣の日能研他教室と比較しても高いレベルとなっております。トップMクラスの設置やクラス数の多さもあり、いろいろな方面から通われているお子さまが、切磋琢磨して成長できる環境となっております。

通室エリア

どこの小学校から通っているの？

日能研たまプラーザ校には、日能研各校の通室圏を越えて、遠くの小学校の子どもたちがたくさん通っています。それは、どこよりも楽しくてハイレベルな授業が待っているからです。





日能研にはたくさんの小学生が通っています。
この子どもたちの安全を守るために、「Nセキュリティ」があります。
Nセキュリティとは警視庁・神奈川県警OBで組織された日能研の防犯組織です。子どもたちが通塾する際に校舎近隣に立ち、安全を見守っています。日能研たまプラーザ校には、平日（月～金曜）の夕方に「Nセキュリティ」のスタッフが配置され、子どもたちに危険が及ばないよういつも警戒しています。

N SECURITY

日能研たまプラーザ校　年間スケジュール

日能研たまプラーザ校での開催イベントは、大きく分けて学習に関するイベントと学校情報に関するイベントがあります。特に学校情報に関するイベントは、志望校選定が本格化する５年生より実施いたします。

2月

- 首都圏中学入試
- 新学年授業開始
- 入試速報会（全学年）

3月

- クラス替え（６年生）
- 個人面談（６年生保護者）
- 記述力模試（６年選抜生）
- 春期講習（全学年：必修制）
- 合格祝賀会（受験生）
- 合格オンザロード
- 全国テスト

4月

- 春期講習（全学年：必修制）
- クラス替え（４・５・６年生）
- 春期保護者会（全学年）
- GW休校

5月

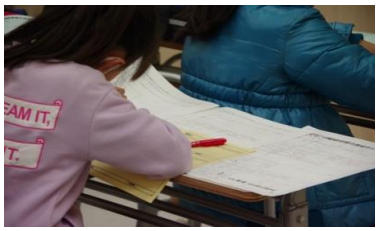
- GW休校
- GW特訓講座（５・６年選抜生）
- クラス替え（５年生）
- 個人面談（３・４・５年生保護者順次）

6月

- 志望校選定保護者会（５年生）
- クラス替え（４・５・６年生）
- 夏期学力育成保護者会（全学年）
- 合格判定テスト（６年生）
- 私学フェア（全学年）
- 全国テスト

7月

- クラス替え（６年生）
- 夏期生徒ガイダンス(６年生)
- 夏期保護者会（全学年）
- 夏期講習（全学年：必修制）
- 後期日特受講案内（６年生）
- Nフレンズ（全学年）



また、６年生になると個別面談にて学校情報＆入試情報をお話しすることも多くなり、最後までご家庭に多種の情報をお伝えしながら入試まで進むこととなります。中学入試合格を掴むため、受験生・ご家庭をさまざまなイベントでサポートしてまいります。

8月

- **併願作戦立案説明会（６年生）**
- **夏期講習（全学年：必修制）**
- **お盆休校**
- **難関校過去問特訓講座（6年選抜生）**
- **記述力模試（４・５年選抜生）**
- **過去問ガイダンス（６年生）**

9月

- **クラス替え（４・５・６年生）**
- **受験相談（６年生保護者）**
- **合格判定テスト（６年生）**
- **後期授業開始**

受験相談では
併願シミュレーション
を紹介

10月

- **新学年システム説明会（3･4･5年）**
- **受験相談（６年生保護者）**
- **全国テスト①（新学年募集①）**
- **合格判定テスト（６年生）**
- **クラス替え（6年生）**

11月

- **願書用写真撮影会（６年生）**
- **出願準備保護者会（６年生保護者）**
- **合格判定テスト（６年生）**
- **クラス替え（4･5･6年生）**

12月

- **全国テスト②（新学年募集②）**
- **冬期講習（全学年：必修制）**
- **入試直前ガイダンス（６年生）**
- **合格判定テスト（６年生）**
- **ファイナル２５６テスト（６年生）**
- **PRE合格判定テスト（５年生）**
- **最終クラス替え（6年生）**

1月

- **面接練習（6年生）**
- **冬期講習（全学年：必修制）**
- **全国テスト③（新学年募集③）**
- **ジャンプアップ保護者会（3･4･5年生）**
- **新学年生徒ガイダンス（3･4･5年生）**
- **壮行会（6年生）**

たまプラーザ校Q＆A

Q.学校の学習以外で何もやったことがないので、ついていけるか不安です。

A.ほとんどの方は学校の学習だけ、というところから塾通いをスタートします。授業は逆算型プログラムによる日能研のオリジナルテキストで進めていきます。受験当日に学力を完成させるべく、時期に応じてお子様が学ぶ内容を段階的に分けていますので、学校の学習しかやっていない、と不安に思う必要はまったくありません。
「授業に参加し、その後復習を重ねる」ことをしっかり習慣付けられれば、学力は必ず上がります。
学習の習慣は、入ってから身につけましょう。逆に、学習習慣を身につけてから入ろうと考えて入室の時期を遅くするほど、学校と進学塾との学習内容のギャップが大きくなり、それを埋めるために労力が多く必要になります。

Q.学習量や学習時間はどれくらいですか？

A.日能研オリジナルのテキストに載っている問題を解くことになりますが、お子様の所属クラスや理解度によって、講師から問題が指定されます。まずは指定された問題をきちんと演習し、考え方を習得しましょう。
目安としては、４年生の４科目の受講で、１週間におよそ８時間ほどです。

Q.習い事との併用はできますか？

A.習い事は５年夏、６年開始時などの節目で整理する方が多いようです。４年生にとったアンケートでは、ほぼ全員がなんらかの習い事と併用しており、うち５０％のご家庭は、日能研以外に複数の習い事を同時にやっているようです。
たまプラーザ校としても、いろいろな習い事とともに、メリハリのついた生活を送っていただきたいと考えています。

Q.分からないことが出てきたら…？

A.分からないことは、いつでもたまプラーザ校までご相談ください。成績のこと、志望校のこと、学習方法のこと、習い事のこと、親子の関係、時間のやりくり、テストの受け方、授業の様子など、どんなことでも結構です。
ご相談はメール、電話、連絡票などの方法で承ります。その解決に面談が必要なときは、お子様との面談、保護者様との個別相談、親子での三者面談など、解決に最もふさわしい方法をご提案します。
ご家庭で悩んでいても、ほかのご家庭がどうなのか、わが子と一般家庭とどう違うのかは、なかなか見えてきません。また、われわれスタッフも、お子様のご家庭での様子はなかなか分かりません。ご家庭とたまプラーザ校との連携を強くし、一般的な方法論をお子様各個人、各ご家庭に合わせてカスタマイズすることで、解決策は必ず見えてきます。

日能研生「合格までの軌跡」

入室時からの中学受験合格までの成長の軌跡をご紹介いたします

合格	通室開始	最終合格予想偏差値	6年時年間平均偏差	スタート時偏差
開成	4年生	72	70.7	62.9
麻布	3年生	67	67.5	54.0
桜蔭	4年生	68	71.4	66.6
女子学院	4年生	67	66.6	55.5
中大横浜	4年生	58	55.9	41.2
サレジオ学院	3年生	59	54.7	47.5
洗足学園	4年生	65	58.6	45.2

※過去数年以内の日能研生のデータより作成しています。
　ただし、上記の成績推移などは、個人が特定できないように若干内容を変更してあります。
※上記スタート時偏差は入室後初回公開模試（実力試験）の偏差です。
※日能研では、入室から合格まで日能研で学び続けた教室生のみを合格者として計上しています。
　期間講習のみの受講生、公開模試受験生など、他塾との重複を一切含んでおりません。

中学入試を終えて「-受験生からのメッセージ-」

細かく教えてくれたのですごい分かりやすかったです。はやく正確にとける方法をたくさん教えてくれたので時間が少なくなることもあまりなかったので良かったです。おかげで苦手だった算数も好きになりました。ありがとうございました。

質問をしたとき、とても丁寧に対応してくださったり宿題を提出したとき一声かけてくださったりしたのが印象に残っています。苦手意識があった算数も今では楽しく解いています。中学の数学はもっと難しいと思いますが、頑張ります。ありがとうございました。

中学受験の厳しさや、細かい知識をいろいろと教えてくれました。勉強の事でない話もとてもおもしろかったです。六年生の授業も楽しんで学べました。

先生に言われたことはすべて役に立ちました。また理科の演しゅうはつかれたけど先生の話がおもしろかったので集中力がもちました。

受験、続けて良かったです。これからも勉強をがんばりたいと思います。

分からない問題でも分かるようになるまで図をかいて教えてくれたりして理解しやすかったです。同じ問題が出た時にもう大丈夫だと思えるくらいどれも使いたくなる方法ばかりでした。ありがとうございました。

先生は授業中に、社会に関係する面白い話をしてくれます。また、偉人の名言を教えてくれます。その話にいつも笑えてとても楽しかったです。社会のプリントも役に立つものばかりで、感謝しています。私は社会が苦手でしたが先生のおかげで、もっと努力しなければとやる気を出す事ができました。ありがとうございました。

日能研たまプラーザ校　ご入室方法

日能研は進学塾である性格上、ご入室に先立ってテストによる学力選抜がございます。
ご入室の方法は以下の通りです。

①無料テストに参加

日能研で定期的に行われる無料テストにご参加いただくことで、テストの成績に応じた入室資格を出します。無料テストは普段日能研に通っていない方を主に対象としたテストですが、毎回たくさんの方に受験していただいております（１月・３月・６月・１０月・１２月に実施）。

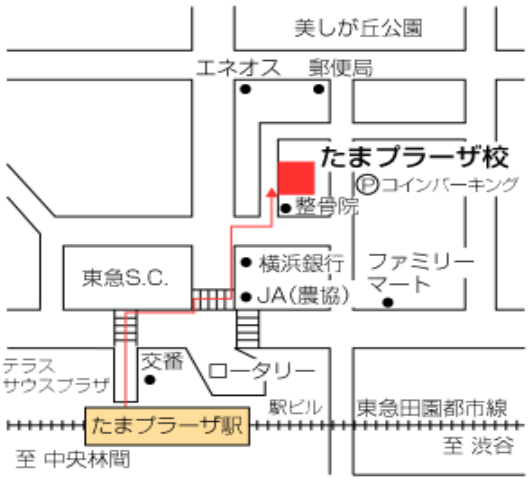
②公開模試

毎月実施されている公開模試でも、テスト後の成績に応じた入室資格をご案内いたします。公開模試は有料のテストとなりますが、普段日能研に通っている生徒も受験することから、中学受験に即した偏差値や成績情報をご提供できます。

③期間講習

期間講習を受講していただくと、講習最終日に「特別テスト」が実施されます。そちらのテストを受けていただき、成績に応じた入室資格をご案内いたします。
期間講習の特別テストは講習で学習したことが出題されるため、比較的得点の取りやすいテストになります。

④個別入室テスト

日能研で随時行っている入室テストです。個別での実施になるため、他のテストのような成績表の出力はありません。その分テスト実施後の翌日までには入室資格をお伝えできます。ご入室までの期間が最も短いテストになります。
ご入室に関するご相談がございましたら、お気軽に日能研たまプラーザ校までご連絡ください。

日能研たまプラーザ校
〒225-0002　横浜市青葉区美しが丘
2-20-19
☎ 045 (901) 6666 / FAX 045 (901) 5087
tamapura@nichinoken.co.jp